

## 【リバ剣（リバイバル剣道・剣士）のすすめ】

学生時代に剣道の稽古に汗を流していた方々が社会人になり、仕事の忙しさや家庭の事情、周囲の剣道稽古場所の諸事情により剣道再開の気持ちはあるものの一步踏み出せない方々は意外に多くいらっしゃるのではないのでしょうか？  
大阪府剣道連盟 松島監事にご寄稿を頂き、剣道再開された後の現在の心境を語って頂きました。

この度は「リバ剣（\*）のすすめ」の投稿機会を頂きありがとうございます。私のつたない経験ですがリバ剣により剣道を再開できたお陰で、現在も充実して楽しい剣道人生を過ごさせて頂いております。少しでも皆様のお役に立つ情報提供ができればと思い、ペンをとりました。先ず、私の剣道人生をリバ剣に至った経緯も含めて記します。

**最初の剣道人生**（期間）は高校・大学の7年間でした（段位は三段どまり）。それから約20年間の剣道との関りは、大学の剣道部OB総会に顔を出す程度でしたが、その後、少しOB会活動のお手伝いを行うようになりました（43歳）。しばらく後、**大阪学生剣道連盟の理事**枠が先輩OB理事の異動で空くことになり、後任として指名された次第です（49歳）。

通常大阪学連の理事は五段以上で、大会の審判もしながら理事会で連盟の運営を担う形で就任する訳ですが、私の場合は、三段で剣道もしていない身でしたので、極めて異例でしたが、理事会出席と大会での受付業務のサポート等から取り組みました。また理事会後の懇親会での話題は当然剣道談義になる訳ですが、私はそれを横で聞いているだけでした。そんな懇親会のある時、「松島さんはなぜ剣道をしていないのか？」が話題となりました。私は、フルマラソン等で腰を痛めていたので、そのようにお答えすると「歩けるやないの！ **歩いたら剣道できるで！**」との指摘があり、それからしばらくは「剣道は再開可能」との強いプレッシャー（お誘い：笑）を受けることになりました。そしてついにそのプレッシャーに押され、**剣道再開を皆様に宣言することになりました（51歳）**。

剣道再開を宣言しましたが、会社でその話題を出すと、「アキレス腱だけは切らんといてね！」と釘を刺されましたので、その対策旁身体づくりを兼ねて、自宅近くの中山（標高480m）登頂を半年程度繰り返して足腰の鍛錬を行い、満を持して剣道再開に漕ぎつけた次第です（52歳）。

剣道を再開した場所は、学連会長が主宰されていた**剣道教室**で、偶々大人剣道初級者の部は60歳超の剣道初心者や、初段・二段の方が数名おられる状況で、私が剣道を基礎から再開するには格好の環境でした。その大人の部の指導者は剣道教士七段の方で、その方の指導内容を私が自分も学びつつ見本として示しながら一緒に稽古（切り返し、基本稽古等）を行う形でスタートしました。

基本稽古の後には大人剣道の中級者・指導者との回り稽古にも参加しました。そんな中、偶々出稽古に来られていた学連理事の方からターニングポイントになる一言「松島さん、大学生みたいな剣道ですね。そんな**力任せの稽古をしていると長続きしませんよ！**」を頂きました。それからは、その言葉を肝に銘じ、生涯剣道に向けて少しずつ修練を重ねた次第です。

そんな稽古を続けていくうちに教士七段の道場主宰者から、そろそろ四段昇段審査を受けてみたらとのお言葉を頂きました。当時所属する剣道教室の大人剣道の皆さんが四段昇段審査に何度か挑戦されては弾かれるのを見ていたので少し不安はありましたが、**稽古再開後10カ月目に受審し、お陰様で無事昇段することができました（53歳）**。

その後、剣道教室の大人剣道のメンバーも徐々に充実すると共に稽古回数も当初の週一回から、週2回になり、稽古環境に恵まれる状況となりました。そのお陰もあり**4年後には五段に昇段いたしました（57歳）**。すると、私の五段昇段を待っていたかのように、他の稽古会からお声掛けがあり、誘われるままに参加しました。その稽古会は、始めは高齢者の集まりのようで正直やや気が進まなかったのですが、入ってみれば、外から見ていた印象とは大



違いで、色々な経歴・分野の方々が剣道を通じて交流する**正しく「交剣知愛」を実践している稽古会**でした。それからは、その稽古会を中心にまた新たな稽古会へのお誘いを頂く等、稽古環境も益々充実した中、**5年後には六段に昇段いたしました(62歳)**。どんどん剣道を通じて交流の輪が広がっていった次第です。

その後は自らも上を目指すため新たな稽古場所を求めて動き、定期的に**八段の方々にも指導頂く環境**を得ました。その結果、コロナ禍で2年間のブランクはありましたが、お陰様で**8年後の2022年4月に七段昇段を果たすことができました(70歳)**。そして現在に至っております。今後も本物の七段の稽古ができるよう精進していく所存です。

上記の私の経験やリバ剣仲間の情報を踏まえ、「リバ剣になるため契機・環境の醸成」**「リバ剣に望ましい稽古環境」**等について以下に整理いたしました。

まず、リバ剣なるための契機・環境の醸成については、第一に剣道に触れる機会創出が大事ということになります。以下はその典型的事例です。

- ① **子供が剣道を始める時**に剣道に触れ、同時に稽古を再開する：剣道教室へ子供を連れていき、そこで剣道の魅力を思い出し、再開を決意するケース。このケースが多いと思われます。
- ② **大学等の剣道部OB会活動に触れて**再開する（弱い受け身）：剣道部OB会、学生剣道連盟との触れ合いの結果、周りの剣道熱にほだされて稽古を再開するケース。
- ③ **リバ剣剣士の強い勧めで再開する(強い受け身)**：リバ剣剣士による剣道部OB、他大学剣道部OBへの強い勧誘に刺激を受けて再開するケース＝昔の剣道仲間がリバ剣で剣道再開、そのリバ剣の強い勧誘に刺激を受けて**→あいつがやれるのなら、俺もできるんとちゃうか？**

\*）リバ剣：この呼称は俗称で、全日本剣道連盟でオーソライズされた名称ではありません。

(松島 清 大阪府剣道連盟監事)

- ④ **剣道の魅力を再認識**して再開する：テレビ等でタレント剣道家の剣道番組を見て、再開しようと決意するケース（exタレントの渡辺正行さんの剣道の試合を見て）。
- ⑤ **その他(健康維持等)**：健康のため、なにか運動をとの思いがあり、同じ運動するなら剣道をと再開するケース等。

まとめますと、リバ剣剣士になるには、どのような形でも良いと思いますが、**剣道に関する事柄に興味を持ち続けることが大切**と考えます。換言すると、『剣道への関心も持ち続けていると、ふとした剣道に触れ合う機会を契機に、その機会を上手くキャッチし剣道の世界に戻ることが多くありますし、また、剣道への関心を持って、情報発信していると、外からもお声掛けがあり再開に繋がることもある』となります。

次に：リバ剣にとって望ましい稽古環境を整理すると以下になります。

- ① **同じレベルの稽古仲間**がおり、無理をせず徐々にお互いが切磋琢磨し、共に上達できる環境があると稽古の継続に繋がります。
- ② また、**社会人剣道、生涯剣道に繋がる剣道をしっかりと指導頂ける指導者と巡り会うこと**も大切です。

最後に、稽古を再開するに当たって剣道具の準備が必要ですが、私のつたない経験から言えば、入り口は余り重く考えないで、軽くイントロから再入門する程度の考え方、従って**剣道具も初心者+α程度(価格にして5~10万円程度)**を揃え、稽古を始められると良いのではと考えています。

雑駁な寄稿になりましたが、リバ剣で剣道を再開しようと考えている方々に少しでも参考になれば幸いです。

以上

## 「道歌を訪ねて」～シリーズ第七弾～

道の極意を簡潔に言い表し、七五調で覚えやすい「剣道道歌」をシリーズで取り上げています。皆さんからの投稿をお待ちしています！



剣道の修練は奥深いものであり、永遠に修行をすることが必要である、と解釈し、継続して稽古していくための道標として選ばせていただきました。

(北端 浩三 かわら版編集 WG)

歩みにも  
深き習いのあるぞかし  
知らねば迷う今日の細道  
詠み人知らず

# 「海外から見た日本の剣道」シリーズ その1

大阪府公立高等学校の教諭・剣道部顧問としてご活躍されている  
マッコール先生にご自身の剣道人生やお国の剣道事情などを語って頂きました

## プロフィール



職業：大阪府公立高等学校教諭（教諭・剣道部顧問）  
剣道歴：30年 段位：錬士七段 所属：教職員クラブ  
他：小野派一刀流(主任指導員)・鹿島神傳直心影流

## 剣道人生のあらすじ(前半):大阪に来るまで

剣道は30年前、スコットランドの首都エディンバラにて大学2年生ごろから始めました。当時、指導者は参段のスコットランド人で、会場は大学の体育館です。剣道の情報は乏しく、道具は全て日本か韓国に電話して送ってもらっていました。竹刀は選べない。今考えたら大変な時代でした。卒業して、エディンバラから NYC → ロンドン → エディンバラ → 東京 → エディンバラと、あちこちで7年間働きました。場所を変えながらもずっと稽古していました。その間、英国代表選手に選ばれ欧州選手権2回、世界選手権1回(第13回)にも出場しました。剣道に全てを捧げるため、仕事(コンピューター・エンジニア)を捨てて2003年7月に日本に移住しました。なんとかなるぞと、若かったがゆえの勢い任せの選択ですね。当時はまだ参段でした。最初の2年間は広島県の呉市、それ以来はずっと大阪です。この間たくさんの剣道人と出会い、いろいろな経験をさせていただきました。

## (後半):大阪時代(2005年の夏~現在)

大阪ではまず一刀流を習うため長正館に入会すると同時に難波にある養正会にも入会しました。しばらくしてある警察署の剣友会にも入会しました。学校の部活に加え、さらにもう一つ古流道場にも通っていたので、かなり忙しい日々でした。2017年に子供を授かり、稽古数は少し減らしたほうがいいのかと思っていましたが、今でも週に8回くらい稽古しています(笑)。その中でも一番の出来事はスコットランドの首都エディンバラにて

剣道セミナーを確立したことでした。

## エディンバラ剣道セミナー

大阪で教わったことをスコットランドの剣道人に伝えようと思ったのがセミナーを始めたきっかけです。2008年にスタートし、初めはエディンバラ剣道会を中心にスコットランドの剣道人に限って二日間、素振り・足捌き・基本稽古・日本剣道形という簡単な内容でしたが、2018年から正式にオープン参加のセミナーへと拡大し、日程も4日間に増やしました。毎年40人から50人が参加されております。

2020~2022年はコロナウイルス拡大のため中止されましたが、2023年(第8回)はセミナーが再開されます。

## エディンバラの剣道事情(2023年現在)

エディンバラには2つの剣道クラブがあります。エディンバラ剣道会とエディンバラ大学剣道クラブです。スコットランドで剣道が始まったのは1970年代だそうです。はっきりした日付けは不明ですが、グラスゴーという市にクラブができました。そのクラブにいた数名が1988年に故郷のエディンバラに戻ってエディンバラ剣道会を創立しました。私は1992~93の間にそのクラブに入会し、そこで剣道人生が始まりました。のち、2000~2003年の間に本会の会長に任命されました。私が2003年の夏に日本へ渡ったのちに会長を引き継いでいただいた方がエディンバラ大学の職員(スポーツ・トレーナー)で、彼の働きにより2008年ごろエディンバラ大学剣道クラブが創部されました。

## エディンバラ剣道会・大学剣道クラブ調査結果

	エディンバラ剣道会	エディンバラ大学剣道クラブ
稽古回数	3	4
総人数	49	44
大人	36(男性29;女性7; 国外:16)	全員
未成年	13(男子8;女子5; 国外:1)	-

(国外=スコットランド以外)



## 関連リンク

エディンバラ剣道会：<https://edinburghkendo.wordpress.com/>

エディンバラ大学剣道クラブ：<https://eukc.org.uk/>

学校の剣道部：<https://otemaekendo.wordpress.com/>

個人ブログ(英語)：<https://kenshi247.net>

(マッコール・ジョージ 大阪府公立高等学校教諭)

## 「この旗の下に」(部旗) シリーズ その3 (住友電気剣道部)

剣道部にはその活動理念を簡潔に語る部旗が掲げられています。これを訪ねる企画のシリーズ第三弾です。今回お訪ねしたのは、大阪でも老舗の住友電気剣道部。同社剣道部総監督の岸川義喜さんにお話を伺いました。

### 1. 世界一を目標に社業・剣道とも挑戦し続ける

当社は自動車、情報通信、エレクトロニクス、環境エネルギー、産業素材の5つの事業分野を世界約40カ国で展開し、いくつもの世界シェア No.1 製品があります。そして近年躍進めざましい陸上競技部は、オリンピックや世界陸上の日本代表選手を数多く輩出しており身近な仲間が世界一に向けて挑戦しています。このような環境の中、高い志を持ち社業・剣道に取り組んでいます。

### 2. 住友電気剣道部の歩み

当社と剣道とのかかわりは古く、1970年代までは社員の新人教育カリキュラムとして取り入れられていた時代もありました。同時に同好会チームとして大阪府剣道連盟や近畿実業団剣道連盟に加盟し活動しておりましたが、活動強化を図り全日本実業団剣道連盟に加盟したのは2010年であり後発のチームです。稽古はJR安治川口駅近くの大阪製作所内にある剣道場「心義館(しんぎかん)」と兵庫県伊丹市にある伊丹製作所内の体育館で行っています。

### 3. 剣道部旗の由来



当社の部旗作成のきっかけは、石黒執行役員(当時)が2019年度の大阪府社会人剣道大会で準優勝した試合を観戦され、大いに感動された後の慰労会で「この機会に部旗を作ってみてはどうか」と発案されたことでした(重要なことは夜決まる?)。部旗の題字については、既に手拭いとして使用していた「萬事入精」(ばんじにつせい)を踏襲することにしました。



「萬事入精」とは住友家初代・住友政友が17世紀に遺した商いの心得「文殊院旨意書(もんじゅいんしいがき)」の前文に由来する言葉で、当社の基本理念の一つになっています。「まず一人の人間として、何事に対しても誠心誠意を尽くす人であれ」という意味です。剣道の技量のみならず人間を磨き人格豊かに成熟することを求めることは人生全般に通ずる、との思いで部旗にも用いました。また、揮毫は関西経済連合会 松本正義会長(当社会長)によるものです。

### 4. 全日本実業団剣道大会への挑戦

実業団剣道日本一を目標のひとつに掲げ、2010年から挑戦を開始しました。2014年までは緒戦突破できないという厳しい時代が続きましたが、2015年以降は大阪府剣道優勝大会などで入賞させていただく機会も増え、全日本実業団剣道大会でも2017年にベスト16(365チーム中)まで勝ち上がることができました。まだまだ目標達成の道半ばですが、寸暇を惜しみながら部員一同稽古に励んでいます。



### 5. 最後に

剣道は「剣の理法の修練による人間形成の道」ですので剣道だけでなく同時に企業人として一人前になること、更にそれ以上の活躍を当社剣道部員には期待しています。また、若手が多くまだまだ未熟なチームですが、今後とも仕事と試合での活躍とが両立ができるよう、社内の環境改善を含め取り組んでまいります。長期的には剣道を通じて地域社会へ貢献する活動などができるよう引き続き精進してまいります。

(岸川 義喜 住友電気剣道部総監督)